

アセスメントの方法

- 具体的なアセスメントの方法

この時間で学ぶこと

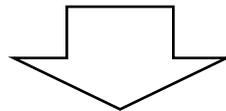
- これまで行動障害が現れやすい人たちへの支援においては、
「障害特性に合わせた支援が必要であること」
「支援者が統一した支援をすること」
が大切であることを確認してきました。
- この時間では、支援者が統一した支援を実施するために必要な、障害特性に合わせた支援手順書の作成するための根拠となるアセスメントの方法について学びます。

演習の流れ



演習 1

具体的なアセスメントの方法



- i) アセスメントについて
- ii) 事例の紹介
- iii) 本人の行動を確認する

i) アセスメントについて

アセスメント

- ・ アセスメントとは？
「評価」や「実態把握」
- ・ 基本的なアセスメント情報
「医学的な診断」「障害支援区分」「療育手帳」など

実際の支援には、
支援の内容に直結
する詳しい情報が
必要

「フォーマルなアセスメント」
・ 知能検査、発達検査など標準化
された検査

「インフォーマルなアセスメント」
・ 日常の観察やインタビューによっ
て得られる情報

行動チェックシート

本人の行動を観察して具体的な行動を書き込むシート

本人の障害特性に基づく行動に着目することができたり、課題となる行動を絞り込むことができる

行動チェックシート

		例	?	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない		
		イ: 人との関わりが一方的であることが多い		
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する		
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない		
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない		
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する		
コミュニケーション	理解が難しい	キ: 言葉で指示をしても行動できない		
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする		
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコーリア）		
	発信が難しい	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす		
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない		
やり取りが難しい	ス: やり取りがかみ合わない			
	セ: やり取りが続かない			
	ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある			
想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ: やることがないときにウロウロしている、じっとしている		
		チ: 自分から動くことができない		
		ツ: 予定の変更に混乱することが多い		
	変化への対応が難しい	テ: 自分のルールを変えると混乱することが多い		
		ト: 日課が変更されると混乱することが多い		
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない		
	物の一部に対する強い興味	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある		
		ヌ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない		
		ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある		
感覚	感覚が敏感または鈍感	ノ: 目を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある		
		ハ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある		
		ヒ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある		
		フ: 著しい偏食、刺激の強い味を好み、同じものばかり食べる、など行動がある		
		ヘ: 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
		ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある		

特性確認シート

本人の行動について、その背景となる特性を確認するためのシート

必ずしも「課題となっている行動」だけでなく、本人の行動から隠れている特性を整理することができる

特性に対応する支援のアイデアも確認することができる

特性確認シート

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 』		背景となる特性	支援のアイデア
社会性	人や集団との関係に難しさがある	1) 相手への関心が薄い	A) 汲み取ってもらい、察してもらうではなく、具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点)
		2) 相手から期待されていることを理解するのが難しい	
		3) 相手が見ているものを見て相手の考えを察することが難しい	
	状況の理解が難しい	4) 周囲で起こっていることへの関心が薄い	B) 誰にどう伝えたらよいかを具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点)
		5) 周囲の様子から期待されていることを理解することが難しい	
		6) 見えないものの理解が難しい	
コミュニケーション	理解が難しい	7) 話し言葉の理解が難しい	D) 本人が理解できる見える情報(文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など)で伝える(やりとりの視点・見え方の視点)
		8) 一度にたくさんのかことを理解するのが難しい	
		9) 抽象的であいまいな表現の理解が難しい	
	発信が難しい	10) 話し言葉で伝えることが難しい	E) 本人が発信しやすいツールを(文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など)提供する(やりとりの視点・見え方の視点)
		11) どのようにして伝えたいか分からない	
		12) 誰に伝えていいか分からない	
やり取りが難しい	13) 場面や状況に合わせたコミュニケーションが難しい	F) 視覚的なツールでやり取りができるようにする(やりとりの視点・見え方の視点)	
	14) 表情や視線などの非言語コミュニケーションが難しい		
	15) やり取りの量が多いと処理が難しい		
想像力	自分で予定を立てることが難しい	16) 段取りを適切に組むことが難しい	G) 本人に分かりやすく予定や変更を伝える(時間の視点)
		17) なんとなん、たいたいなどのイメージを持ちにくい	
		18) 今やることを自分で判断することが難しい	
	変化への対応が難しい	19) 先の予測をすることが難しい	H) 始まりや終わりを分かりやすいようにする(時間の視点・場所の視点)
		20) 臨機応変に判断することが難しい	
		21) 自分のやり方から抜け出すことが難しい	
物の一部に対する強い興味	物の一部に対する強い興味	22) 興味関心が狭くて強い	I) 活動に意味や目的を持つことができる工夫をする(方法の視点)
		23) 細部が気になり違いに敏感	
		24) 少しの違いで大きな不安を感じる	
		25) 聴覚の過敏や鈍麻がある	
26) 視覚の過敏や鈍麻がある			
27) 触覚の過敏や鈍麻がある			
28) 嗅覚の過敏や鈍麻がある			
29) 味覚の過敏や鈍麻がある			
30) 前庭覚の特有の感覚がある			
感覚	感覚が敏感または鈍感	25) 聴覚の過敏や鈍麻がある	K) 苦手な刺激を少なくするための配慮をする(場所の視点)
		26) 視覚の過敏や鈍麻がある	
		27) 触覚の過敏や鈍麻がある	
		28) 嗅覚の過敏や鈍麻がある	
		29) 味覚の過敏や鈍麻がある	
		30) 前庭覚の特有の感覚がある	
感覚	感覚が敏感または鈍感	25) 聴覚の過敏や鈍麻がある	L) 好きな刺激、必要な刺激は保障する(場所の視点)
		26) 視覚の過敏や鈍麻がある	
		27) 触覚の過敏や鈍麻がある	
		28) 嗅覚の過敏や鈍麻がある	
		29) 味覚の過敏や鈍麻がある	
		30) 前庭覚の特有の感覚がある	

環境確認シート

本人の特性と合っていない
環境を確認するためのシート

支援する人や、さまざまな刺激・情報など見落としがちな
環境の項目を振り返ることができる

環境確認シート

項目	環境確認の視点	具体的な環境
人	指示は何で出していますか（ことば・指さし・実物・紙に書いて等） 指示の量は適切ですか 指示のタイミングは適切ですか 支援をするときの立ち位置は適切ですか その他	
物	見ると勘違いするような物がありますか 見ると気になるような物が見えていますか 物の量で気づいたことはありませんか その他	
場所	何をすべき場所なのか見ればわかるようになっていますか 同じ場所で複数の目的の活動をしていますか 整理整頓はできていますか 気が散りやすい環境になっていませんか その他	
状況	本人の体調はいつもと比べてどうですか その活動の前に気になるできごとはありませんでしたか その活動の内容に本人の苦手な動作や感触などが含まれていませんか その活動の目的（どうするのか、どうなったら終わるのかなど）は理解できていますか その他	
音	その場所にはどんな音がしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
気温	その場所の気温は何度くらいでしたか（あるいは暑かった・寒かった等） その気温は本人にとって快適なものですか	
湿度	その場所の湿度は何%くらいでしたか（あるいは蒸していた・乾燥していた等） その湿度は本人にとって快適なものですか	
臭い	その場所にはどんな臭いがしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
その他	その他本人が不安定になる要因になるかもしれないもの	

強み(ストレングス)確認シート

本人の得意なこと、できることなどを確認するためのシート

具体的な支援を組み立てるときにヒントとなる

強み(ストレングス)確認シート

本人の強み(ストレングス)	活かせそうな場面や状況
わかること・できること 例) なくなったら 終わり、ペットボトルのふたを 開ける ハサミを使うのが上手 など	
好きなこと(遊び方、過ごし方、キャラクターなど) やりたがること 例) ハンモックで 揺れる ○○のキャラクター ビッタリはまる 色を合わせる	
得意なこと(これには助けられているなど) 見方を変えれば得意かもしれないこと 例) 目的がわかれば 待つことができる 変更は苦手だがいつもと同じことはできる	
その他	

ii) 事例の紹介

名前：田中正則（たなかまさのり）さん(仮名)

年齢：32歳 性別：男性

診断名：自閉スペクトラム症 重度知的障害 IQ:30

利用しているサービス：共同生活援助・生活介護・
行動援護

IQについて振り返りましょう

軽度	IQ 50-69
成人期においてその精神年齢は概ね9歳から12歳相当	
中度	IQ35-49
成人期においてその精神年齢は概ね6歳から9歳相当	
重度	IQ20-34
成人期においてその精神年齢は概ね3歳から6歳相当	
最重度	IQ 20未満
成人期においてその精神年齢は概ね3歳未満	

※軽度、中度、重度、最重度の区分はICD-10による。

田中さんは、グループホームに住む重度知的障害を伴う、自閉スペクトラム症の男性です。

平日はグループホームから生活介護事業所に通い、休日は、ときどき行動援護でヘルパーさんと外出しています。

田中さんの普段の行動には、様々な自閉スペクトラム症の特性が現れています。

※「田中さんの基本情報」参照

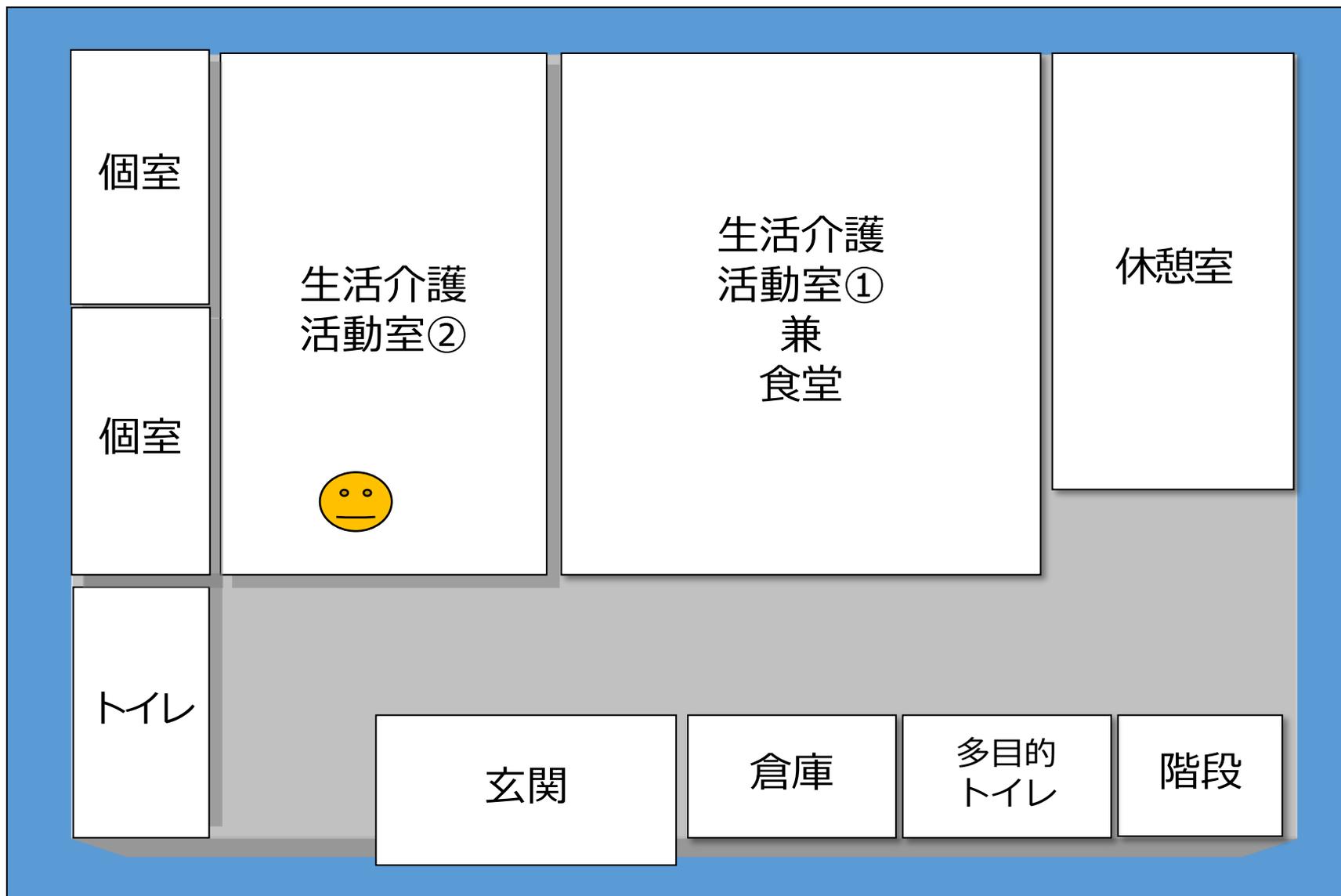
田中さんの活動場面

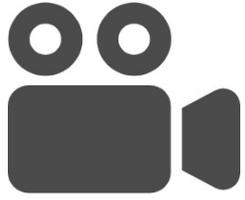
ある平日の午前中の生活介護事業所での様子です。
作業をやることになっていますが、田中さんは午後からのお出かけのことが気になっています。

担当している職員は、田中さんに作業をしてもらうために、懸命に声をかけて作業をするように促しています。

しかし、田中さんはお出かけのことが気になり、作業どころではないようです・・・。

生活介護事業所の中の配置図





動画の視聴

iii) 本人の行動を確認する

行動を見る視点の大切さ

- 行動障害のある人たちは、自分の気持ちをうまく訴えられない特性があります。
- うまく訴えられない人たちのことを理解するためには、行動が手がかりになります。
- 行動をきちんと観察することで、本人の訴えたいことだけでなく、障害の特性を理解することにもつながります。
- まずは、生活介護事業所での田中さんの具体的な行動を確認していきましょう。

行動に注目する

「行動チェックシート」を使って、田中さんの行動を確認します。

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない		
		イ: 人との関わりが一面的であることが多い		
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する		
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない		
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない		
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する		
コミュニケーション	理解が難しい	キ: 言葉で指示をしても行動できない		
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする		
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す(エコーリア)		
	発信が難しい	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす		
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない		
	やり取りが難しい	ス: やり取りがかみ合わない		
		セ: やり取りが続かない		
		ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある		
想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ: やることがないときにウロウロしている、じっとしている		
		チ: 自分から動くことができない		
		ツ: 予定の変更に混乱することが多い		
	変化への対応が難しい	テ: 自分のルールを変えると混乱することが多い		
		ト: 日課が変更されると混乱することが多い		
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない		
	物の一部に対する強い興味	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある		
		ヌ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない		
		ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある		
感覚	感覚が敏感または鈍感	ノ: 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある		
		ハ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある		
		ヒ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある		
		フ: 著しい偏食、刺激の強い味を好む、同じものばかり食べる、など行動がある		
		ヘ: 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
		ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある		

個人ワーク | 行動に注目する

1. 行動チェックシートで生活介護事業所での田中さんの行動を確認します。

社会性の特徴

社会性の特徴について、田中さんの行動に現れているところを確認してみましょう。

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない		
		イ: 人との関わりが一方的であることが多い		
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する		
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない		
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない		
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する		

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない		
		イ: 人との関わりが一方的であることが多い		
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する		
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない		
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない		
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する		
コミュニケーション	理解が難しい	キ: 言葉で指示しても行動できない		
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする		
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す (エコーアクト)		
	発音が難しい	コ: 行動や仕事などで自分の気持ちを現わす		
		カ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない		
やり取りが難しい	ス: やり取りがかみ合わない			
	セ: やり取りが読めない			
	ソ: 衝突に話し始めたり、黙込込ことがある			
想像力	自分で予定を立てることが難しい	ガ: やることがないときに口ひらいている、じっとしている		
		ギ: 自分から動くことができない		
		グ: 予定の言葉に混乱することが多い		
	変化への対応が難しい	ゲ: 自分のルールを変えようと混乱することが多い		
		ヘ: 目標が変更されると混乱することが多い		
		ネ: 活動を途中でやめたり、変更することができない		
感覚	物の一部に対する強い興味	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある		
		フ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない		
		ホ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある		
	感覚が敏感または鈍感	ハ: 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大量に受ける、などの行動がある		
		ヒ: 反しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに敏感すぎる、などの行動がある		
		ヘ: 特定の音物に過敏すぎる、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある		

例えば、このような行動に注目します

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない	✓	
		イ: 人との関わりが一方向的であることが多い		
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する	✓	
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない		
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない		
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する		

チェックが入っているところに本人の具体的な行動を書き込んでみましょう

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない	✓	支援者が話しかけても支援者の方を向かない
		イ: 人との関わりが一方的であることが多い		
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する	✓	
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない		
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない		
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する		

例えば、このような行動に注目します

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
コ ミ ユ ニ ケ ー シ ヨ ン	理解が難しい	キ: 言葉で指示をしても行動できない	✓	
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする	✓	
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す (エコーリア)	✓	
	発信が難しい	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす	✓	
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない	✓	
	やり取りが難しい	ス: やり取りがかみ合わない		
		セ: やり取りが続かない		
		ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある		

チェックが入っているところに本人の具体的な行動を書き込んでみましょう

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ヨ ン	理解が難しい	キ: 言葉で指示をしても行動できない	✓	
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする	✓	
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す (エコラリア)	✓	
	発信が難しい	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす	✓	
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない	✓	
	やり取りが難しい	ス: やり取りがかみ合わない		
		セ: やり取りが続かない		
		ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある		

想像力の特徴

想像力の特徴について、田中さんの行動に現れているところを確認してみましょう。

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ: やることがないときにウロウロしている、じっとしている		
		チ: 自分から動くことができない		
		ツ: 予定の変更に混乱することが多い		
	変化への対応が難しい	テ: 自分のルールを変えると混乱することが多い		
		ト: 日課が変更されると混乱することが多い		
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない		
	物の一部に対する強い興味	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある		
		ヌ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない		
		ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある		

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない		
		イ: 人との関わりが一方的であることが多い		
		ウ: 相手の気持ちに関係ない行動をする		
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない		
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない		
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する		
コミュニケーション	理解が難しい	キ: 言葉で指示しても行動できない		
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする		
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコーリア）		
	発音が難しい	コ: 行動や仕事などで自分の気持ちを現わす		
		ク: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない		
やり取りが難しい	ス: やり取りがスムーズにいかない			
	セ: やり取りが難しい			
	ソ: 衝突に話し始めたり、黙り込むことがある			
想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ: やることがないときにウロウロしている、じっとしている		
		チ: 自分から動くことができない		
		ツ: 予定の変更に混乱することが多い		
	変化への対応が難しい	テ: 自分のルールを変えると混乱することが多い		
		ト: 日課が変更されると混乱することが多い		
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない		
物の一部に対する強い興味	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある			
	ヌ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない			
	ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある			
感覚	感覚が敏感または鈍感	ノ: 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大声で叫ぶ、などの行動がある		
		ハ: 反しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに敏感すぎる、などの行動がある		
		ヒ: 特定の音程に敏感すぎる、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある		
	味覚	フ: 辛い食べ物、酸っぱい食べ物、特定の味を好む、同じものばかり食べる、などの行動がある		
		ヘ: 特定の匂いや味に敏感すぎる、極端に嫌がる、嗅いで入れない場所がある、などの行動がある		
		ホ: クラカス回る、ロッキンクが多い、高い場所が好き、本器用等、身体の動かし方に特徴がある		

例えば、このような行動に注目します

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ: やることがないときにウロウロしている、じっとしている		
		チ: 自分から動くことができない	✓	
		ツ: 予定の変更に混乱することが多い		
	変化への対応が難しい	テ: 自分のルールを変えると混乱することが多い		
		ト: 日課が変更されると混乱することが多い		
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない		
	物の一部に対する強い興味	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある		
		ヌ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない	✓	
		ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある		

チェックが入っているところに本人の具体的な行動を書き込んでみましょう🎥

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ: やることがないときにウロウロしている、じっとしている		
		チ: 自分から動くことができない	✓	
		ツ: 予定の変更に混乱することが多い		
	変化への対応が難しい	テ: 自分のルールを変えると混乱することが多い		
		ト: 日課が変更されると混乱することが多い		
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない		
	物の一部に対する強い興味	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある		
		ヌ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない	✓	
		ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある		

感覚の特性

感覚の特性について、田中さんの行動に現れているところを確認してみましょう。

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
感覚	感覚が敏感または鈍感	シ: 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある		
		ハ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある		
		ヒ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある		
		フ: 著しい偏食、刺激の強い味を好む、同じものばかり食べる、など行動がある		
		ヘ: 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
		ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある		

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない		
		イ: 人との関わりが一方的であることが多い		
	ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する			
	エ: 周囲に合わせて行動できない			
状況の理解が難しい	オ: 周囲の状況に対して興味を示さない			
	カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する			
コミュニケーション	理解が難しい	キ: 言葉で指示しても行動できない		
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする		
	ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す (エコーア)			
	コ: 行動や仕事などで自分の気持ちを現わす			
	カ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない			
	シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない			
やり取りが難しい	ス: やり取りが噛み合わない			
	セ: やり取りが読めない			
	ソ: 衝突し始めたり、黙込込めることがある			
想像力	自分で予定を立てることが難しい	ヤ: やるべきときにやりにくい、じっとしている		
		ユ: 自分から動こうとできない		
	ヨ: 予定の言葉に混乱することが多い			
	リ: 自分のルールを変えようと混乱することが多い			
	変化への対応が難しい	ル: 目標が変更されると混乱することが多い		
		レ: 活動を途中でやめたり、変更することができない		
	物の一部に対する強い興味	ロ: 特定の物などへのこだわりや執着がある		
		リ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない		
ロ: 細かいことが気になってやるべきことができない				
ホ: 細かいことが気になってやるべきことができない				
感覚	感覚が敏感または鈍感	シ: 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある		
		ハ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある		
		ヒ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある		
		フ: 著しい偏食、刺激の強い味を好む、同じものばかり食べる、など行動がある		
		ヘ: 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
		ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある		

例えば、このような行動に注目します

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
感 覚	感覚が敏感または鈍感	ノ: 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある	✓	
		ハ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある	✓	
		ヒ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある	✓	
		フ: 著しい偏食、刺激の強い味を好む、同じものばかり食べる、など行動がある		
		ヘ: 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
		ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある		

チェックが入っているところに本人の具体的な行動を書き込んでみましょう

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
感 覚	感覚が敏感または鈍感	ノ: 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある	✓	
		ハ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある	✓	
		ヒ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある	✓	
		フ: 著しい偏食、刺激の強い味を好む、同じものばかり食べる、など行動がある		
		ヘ: 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
		ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある		

行動に注目するということ

- この後の演習では、「作業中に自傷をする」という田中さんの行動について、その背景を探っていき、必要なサポートを整理したうえで、田中さんに合った支援の手順書を作っていきます。
- しかし、支援を組み立てるためには、自傷することだけに注目するのではなく、田中さんがさまざまな苦手さをもっていることに気づくことが大切です。
- 検討すべき行動を探すためだけでなく、本人の特性に気づくためにも客観的な観察（アセスメント）が必要です。

記入例

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない	✓	支援者が話しかけても支援者の方を向かない 支援者が作業をするようにはたらきかけても動かない、水遊びに行く、「お出かけ」と言って歩き出す
		イ: 人との関わりが一方的であることが多い		
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する	✓	
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない		
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない		
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する		

記入例

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ヨ ン	理解が難しい	キ: 言葉で指示をしても行動できない	✓	支援者が「作業をしましょう」と言っても座っている
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする	✓	支援者が「作業をしましょう」と言うと水遊びに行く
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコーリア）	✓	「作業をしましょう」と言われて「作業」と繰り返す
	発信が難しい	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす	✓	「お出かけ」と言って立ちあがる、歩きだす 支援者から止められて作業中に自傷をする
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない	✓	「お出かけ」という言葉だけで自分の気持ちを伝えようとしている
	やり取りが難しい	ス: やり取りがかみ合わない		
		セ: やり取りが続かない		
		ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある		

記入例

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ: やることがないときにウロウロしている、じっとしている		部屋に入るとイスに座ってじっとしている お出かけにこだわり作業ができない
		チ: 自分から動くことができない	✓	
		ツ: 予定の変更に混乱することが多い		
	変化への対応が難しい	テ: 自分のルールを変えると混乱することが多い		
		ト: 日課が変更されると混乱することが多い		
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない		
	物の一部に対する強い興味	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある		
		ヌ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない	✓	
		ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある		

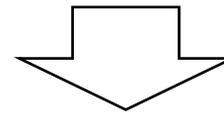
記入例

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
感 覚	感覚が敏感または鈍感	ノ: 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある	✓	常に耳をふさいでいる
		ハ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある	✓	キラキラした刺激が好き（基本情報より）
		ヒ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある	✓	水道の水を長時間触っている
		フ: 著しい偏食、刺激の強い味を好む、同じものばかり食べる、など行動がある		
		ヘ: 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
		ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある		

アセスメントの方法

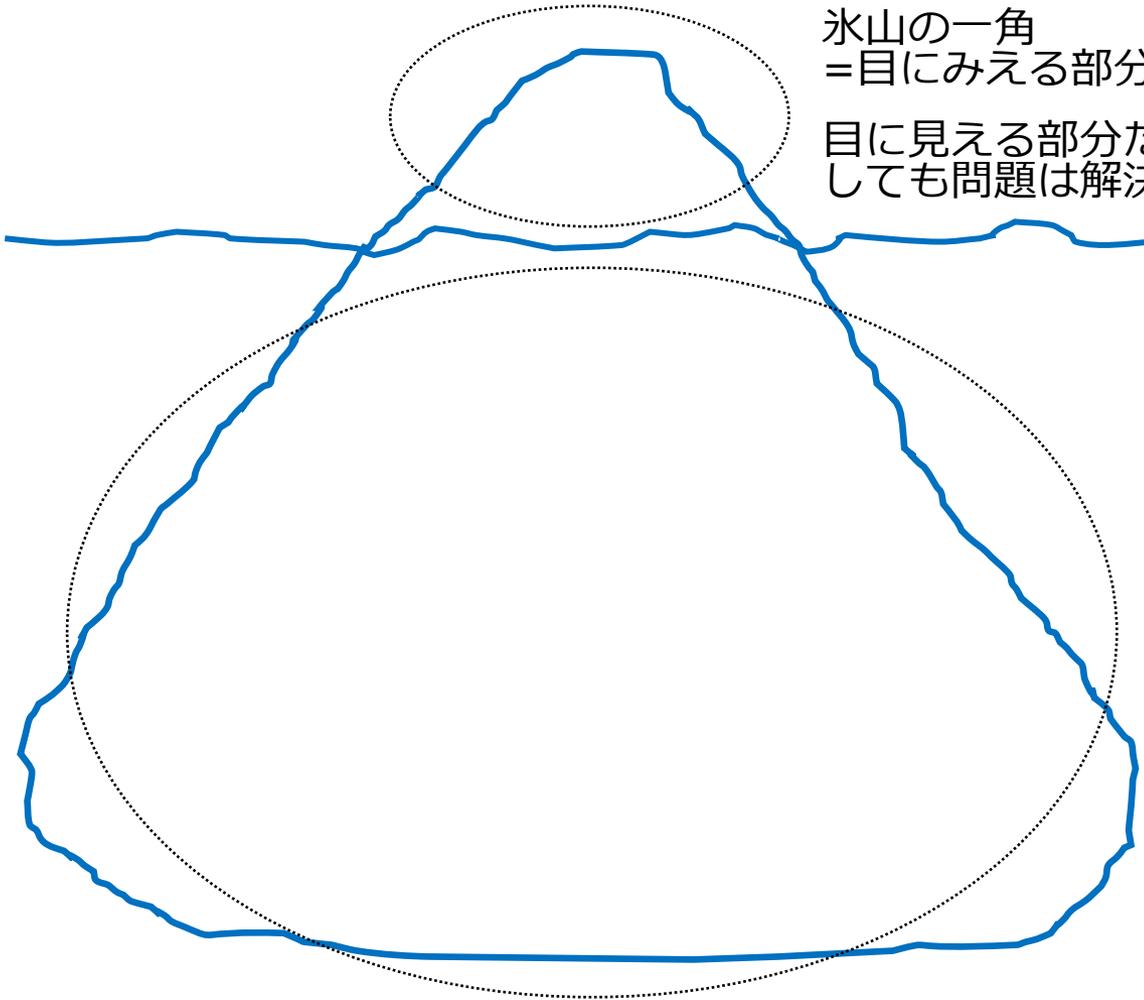
- ・ 障害特性に基づくアセスメント



- i) 氷山モデルについて
- ii) 課題となる行動の確認
- iii) 本人の特性を整理する
- iv) 行動が現れている環境や状況を整理する
- v) 必要なサポートを整理する

i) 氷山モデルについて

行動の背景を知るための「冰山モデル」

A diagram of an iceberg model. A blue line represents the surface of the iceberg, with a jagged peak above a horizontal water line. A dotted line outlines the entire shape of the iceberg, which is much larger than the visible part above water. A small dotted circle highlights the peak of the iceberg above the water line.

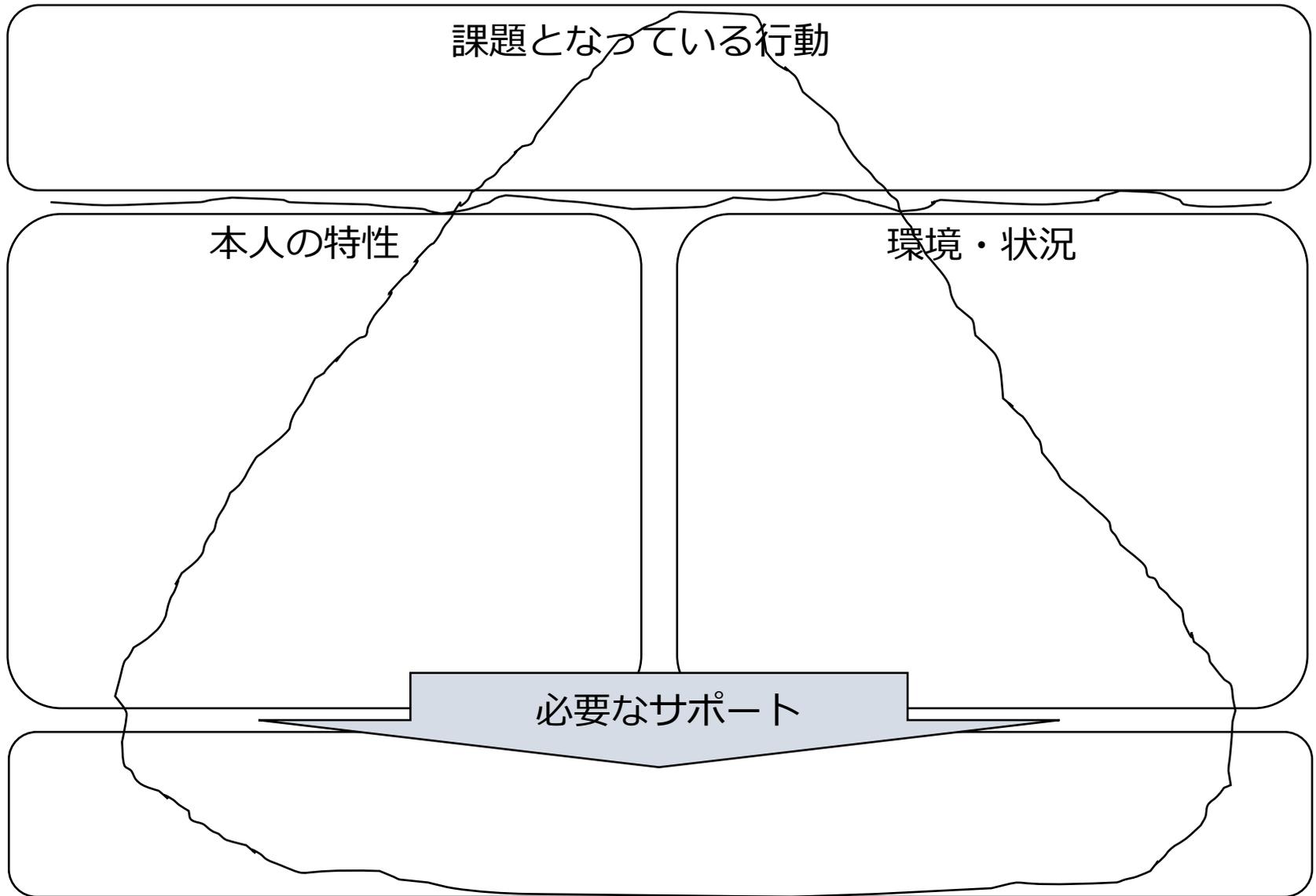
氷山の一角
=目にみえる部分

目に見える部分だけに対応を
しても問題は解決しない。

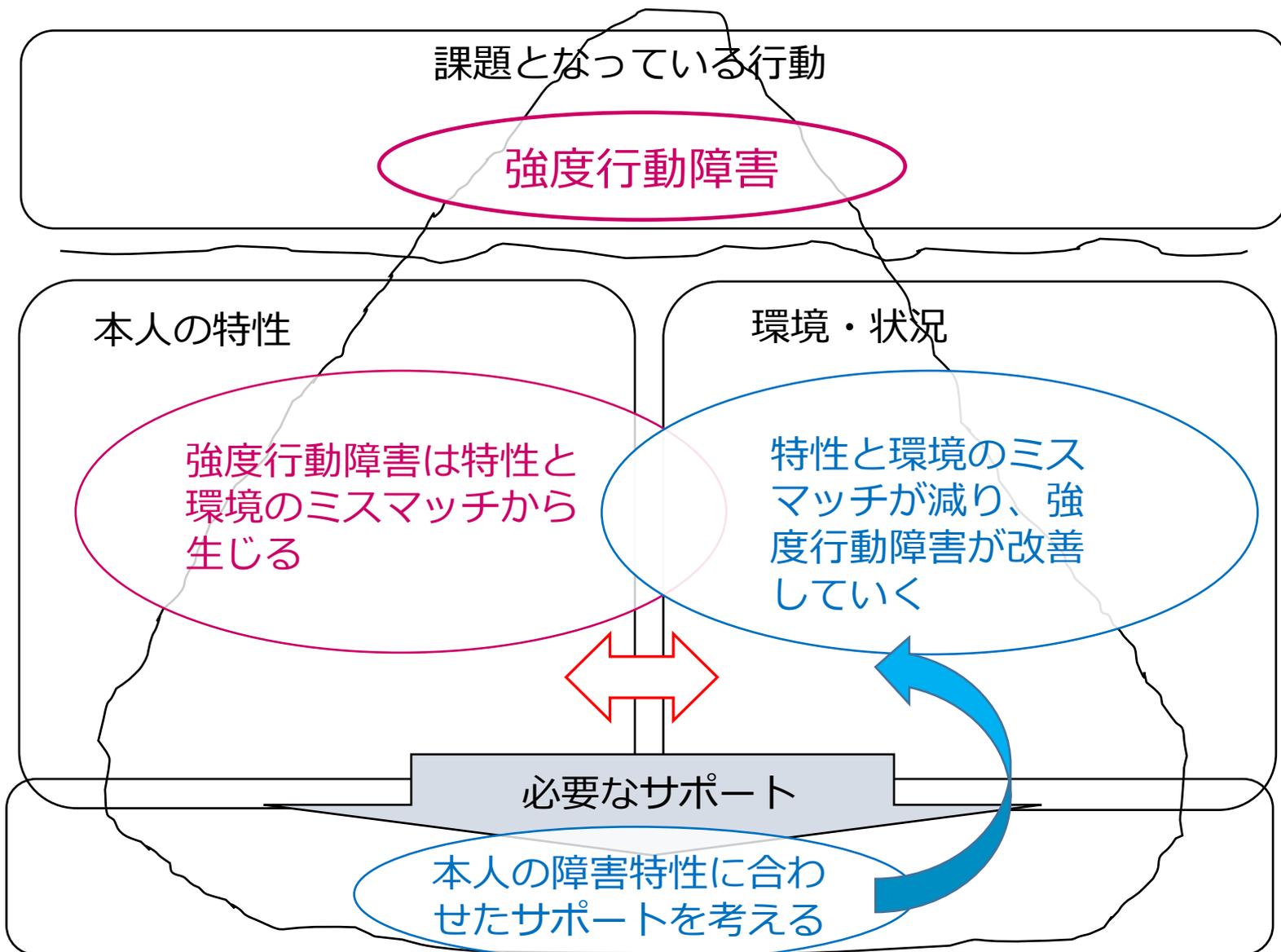
水面下に大きな塊がある
=目にみえない部分

目に見えない部分を理解して
アプローチすることで、表面
に出ている問題が小さくなる。

冰山モデルシート



氷山モデルシート



氷山モデルシートと補足シートの関係

行動チェックシート		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に馴染める	1. 周囲が合わない 2. 人の関わりが一方的であることが多い 3. 相手の気持ちや期待が分からない		
	状況の理解が深い	1. 周囲に合わせた行動ができない 2. 周囲の状況に詳しく観察をしない 3. 危険や迷惑、社会的ルーズに気が付かない		
	理解が深い	1. 言葉で指示されたこと聞かない 2. 相手の言葉とその本意が読めない 3. 行動や仕草などで自分の気持ちを表現する		
コミュニケーション	表現が深い	1. 言葉で自分の気持ちを伝えることができない 2. 言葉はわかるが自分の気持ちを的確に伝えることができない		
	表現が深い	1. やり取りが合わない 2. 言葉の理解が浅い 3. 言葉に反応しない		
	自分で予定を立てることが難しい	1. やることがないに決まっている、じっとしている 2. 自分から動くことができない 3. 予定の変更や混乱することが多い		
想像力	変化への対応が難しい	1. 自分のもっと変えたいと混乱することが多い 2. 活動を進めず終わる、変更することができない		
	物の一部に対する強い興味	1. 特定の興味などへの強い執着がある 2. 自分の興味があるものに強固に固執することができない 3. 興味がないが強くなってやるべきことができないことがある		
	想像力が強い	1. 目を凝らす、特定の音を探る、特定の音で大興奮する、など行動がある 2. 話しが、目を凝らす、無光射を繰り返す、キョキキと反応する、など行動がある 3. 特定の音、特定の匂い、味を好む、同じものばかりを食べる、など行動がある 4. 特定の話しを繰り返す、物に凝らす、聞いて入らない状態がある、など行動がある 5. 特定の匂い、特定の音が嫌い、特定の場所が好き、など行動がある、身体が動かしにくい状態がある		

特性確認シート		課題となっている行動 (本人が困っている行動) 『作業中に自傷をする』	背景との関係性	支援のアイデア
社会性	状況の理解が深い	1) 相手の気持ちが深い		読み取ってもらう、話してもうでなく、具体的な伝える(見え方の視点・やりとりの視点)
		2) 相手の気持ちや期待が分からない		A) 具体的な伝える(見え方の視点・やりとりの視点)
		3) 周囲に合わせた行動ができない		B) 誰にどう伝えたいかを具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点)
		4) 周囲の状況に詳しく観察をしない		「いつ」「どこで」「何を」の情報を見てわかる
		5) 危険や迷惑、社会的ルーズに気が付かない		C) よくに伝える (方法の視点・やりとりの視点)
		6) 見えなぬものも理解が深い		
コミュニケーション	表現が深い	7) 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		本人が理解できる見える情報 (文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など) で伝える (やりとりの視点・見え方の視点)
		8) 言葉はわかるが自分の気持ちを的確に伝えることができない		D) 言葉、絵、写真、シンボル、具体物など) で伝える (やりとりの視点・見え方の視点)
		9) 行動や仕草などで自分の気持ちを表現する		本人が発信しやすいツールを (文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など) 提供する (やりとりの視点・見え方の視点)
		10) やり取りが合わない		E) 本人が発信しやすいツールを (文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など) 提供する (やりとりの視点・見え方の視点)
		11) 言葉に反応しない		F) 視覚的なツールでやり取りができるようにする (やりとりの視点・見え方の視点)
		12) 言葉に反応しない		
想像力	自分で予定を立てることが難しい	13) 予定の変更や混乱することが多い		本人に分かりやすく予定や変更を伝える (時間の視点)
		14) 活動を進めず終わる、変更することができない		G) 始末や終わりを分かりやすいようにする (時間の視点・場所の視点)
		15) 特定の興味などへの強い執着がある		H) 活動に興味や目的を持つことができ工夫をする (方法の視点)
		16) 自分の興味があるものに強固に固執することができない		I) 最初から正しい方法で行うことができるようにする (方法の視点)
		17) 特定の音、特定の匂い、味を好む、同じものばかりを食べる、など行動がある		J) 好きな刺激、必要な刺激は保障する (場所の視点)
		18) 特定の話しを繰り返す、物に凝らす、聞いて入らない状態がある、など行動がある		
想像力	物の一部に対する強い興味	19) 特定の音、特定の匂い、味を好む、同じものばかりを食べる、など行動がある		K) 好きな刺激、必要な刺激は保障する (場所の視点)
		20) 特定の話しを繰り返す、物に凝らす、聞いて入らない状態がある、など行動がある		
		21) 特定の音、特定の匂い、味を好む、同じものばかりを食べる、など行動がある		
		22) 特定の話しを繰り返す、物に凝らす、聞いて入らない状態がある、など行動がある		
		23) 特定の音、特定の匂い、味を好む、同じものばかりを食べる、など行動がある		
		24) 特定の話しを繰り返す、物に凝らす、聞いて入らない状態がある、など行動がある		

環境確認シート		項目	環境確認の視点	具体的な環境
人	指示が何で出していますか (口ばり・指差し・実物・紙に書いて等)	指示の量は適切ですか		読み取ってもらう、話してもうでなく、具体的な伝える(見え方の視点・やりとりの視点)
		指示のタイミングは適切ですか		具体的な伝える(見え方の視点・やりとりの視点)
物	何と触れたいような物がありますか	見えると触れたいような物がありますか		本人が発信しやすいツールを (文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など) 提供する (やりとりの視点・見え方の視点)
		見えると触れたいような物がありますか		本人が発信しやすいツールを (文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など) 提供する (やりとりの視点・見え方の視点)
場所	何をすべき場所なのか見ればわかるようになっていますか	同じ場所で複数の目的の活動をしていますか		本人に分かりやすく予定や変更を伝える (時間の視点)
		整理整頓はできていますか		始末や終わりを分かりやすいようにする (時間の視点・場所の視点)
状況	本人の体調はいつも比べてどうですか	その活動の目的に本人の苦手な動作や過敏なことが含まれていませんか		H) 活動に興味や目的を持つことができ工夫をする (方法の視点)
		その活動の目的 (どうするの、どうしたら終わるのかなど) は理解できていますか		I) 最初から正しい方法で行うことができるようにする (方法の視点)
音	その場所にはどんな音がしていますか	その中に本人が苦手なものがありますか		J) 好きな刺激、必要な刺激は保障する (場所の視点)
		その場所の気温は何度くらいでしたか (あるいは暑かった・寒かった等)		
湿度	その場所の湿度は何度くらいでしたか (あるいは蒸し暑い・乾燥していた等)	その湿度は本人にとって快適なものですか		
		その湿度は本人にとって快適なものですか		
臭い	その場所にはどんな臭いがしていますか	その中に本人が苦手なものがありますか		J) 好きな刺激、必要な刺激は保障する (場所の視点)
		その中に本人が苦手なものがありますか		
その他	その他本人が不安定になる要因になるかもしれないもの	その中に本人が苦手なものがありますか		J) 好きな刺激、必要な刺激は保障する (場所の視点)
		その中に本人が苦手なものがありますか		

強み (ストレングス) 確認シート		本人の強み (ストレングス)	活かせる場面や状況
わかること・できること	例) なはなから読む、ペットボトルの蓋を開ける、ハリスを使うの手上、など	本人の強み (ストレングス)	活かせる場面や状況
		好きなこと (遊び方、過ごし方、キャラクターなど) やりたがること	例) ハンモックで寝る、〇〇のキャラクター、ヒョウはまる、色を合わせる
得意なこと (これには自信を持っているなど) 見方を覚えれば得意になれること	例) 目的がわかれば待つことができる、変更は苦手だがいつもは同じことはできる	本人の強み (ストレングス)	活かせる場面や状況
		得意なこと (これには自信を持っているなど) 見方を覚えれば得意になれること	例) ハンモックで寝る、〇〇のキャラクター、ヒョウはまる、色を合わせる
その他			

行動チェックシート

特性確認シート

環境確認シート

強み確認シート

支援のアイデア

氷山モデルシートと補足シートの関係

行動チェックシート

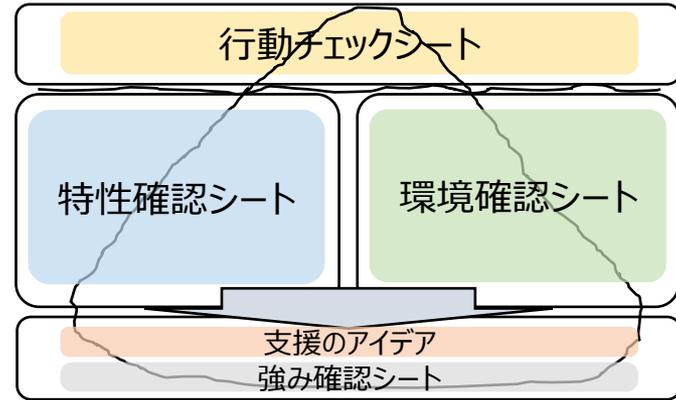
項目	内容	達成状況
1. 目標設定	目標を設定し、その達成のために必要な行動を計画する。	
2. 計画の実行	計画に従って行動し、進捗を確認する。	
3. 振り返り	行動の結果を振り返り、必要に応じて計画を修正する。	
4. 継続	目標達成のために継続的に行動する。	
5. 評価	目標達成の状況を評価し、今後の行動に活かす。	

行動チェックシート

特性確認シート

項目	確認事項	確認結果
1. 目的	目的が明確であるか。	
2. 内容	内容が具体的であるか。	
3. 方法	方法が適切であるか。	
4. 資源	必要な資源が確保されているか。	
5. 評価	進捗が適切であるか。	
6. 継続	目標達成のために継続的に行動しているか。	
7. 評価	目標達成の状況を評価しているか。	

特性確認シート



強み (ストロング) 確認シート

項目	確認事項	確認結果
1. 目的	目的が明確であるか。	
2. 内容	内容が具体的であるか。	
3. 方法	方法が適切であるか。	
4. 資源	必要な資源が確保されているか。	
5. 評価	進捗が適切であるか。	
6. 継続	目標達成のために継続的に行動しているか。	
7. 評価	目標達成の状況を評価しているか。	

環境確認シート

強み (ストロング) 確認シート

項目	確認事項	確認結果
1. 目的	目的が明確であるか。	
2. 内容	内容が具体的であるか。	
3. 方法	方法が適切であるか。	
4. 資源	必要な資源が確保されているか。	
5. 評価	進捗が適切であるか。	
6. 継続	目標達成のために継続的に行動しているか。	
7. 評価	目標達成の状況を評価しているか。	

強み確認シート

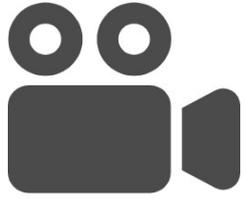
ii) 課題となる行動の確認

課題となる行動の表出

お出かけが気になって、田中さんはなかなか作業ができません。

田中さんに作業をしてもらうために、職員も懸命に働きかけています。

ある時、お出かけが気になる田中さんを職員が制止しようとする、田中さんは大きな声をあげて飛び跳ねながら自分の顔を叩いてしまいました。



動画の視聴

行動チェックシート の追加

行動チェックシート

記入例

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない	✓	支援者が話しかけても支援者の方を向かない 支援者が作業をするようにはたらかけても動かない、水遊びに行く、「お出かけ」と言って歩き出す
		イ: 人との関わりが一方的であることが多い		
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する	✓	
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない		
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない		
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する		
コミュニケーション	理解が難しい	キ: 言葉で指示をしても行動できない	✓	支援者が「作業をしましょう」と言っても座っている 支援者が「作業をしましょう」と言うと水遊びに行く 「作業をしましょう」と言われて「作業」と繰り返す 「お出かけ」と言って立ちあがる、歩きだす 支援者から止められて作業中に自傷をする 「お出かけ」という言葉だけで自分の気持ちを伝えようとしている
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする	✓	
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコラリア）	✓	
	発信が難しい	コ: 行動や仕事などで自分の気持ちを現わす	✓	
		ケ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない	✓	
	やり取りが難しい	ス: やり取りがかみ合わない		
		セ: やり取りが続かない		
		ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある		
想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ: やることがないときにウロウロしている		部屋に入るとイスに座ってじっとしている お出かけにこだわり作業ができない
		チ: 自分から動くことができない	✓	
		ツ: 予定の変更に混乱することが多い		
	変化への対応が難しい	テ: 自分のルールを変えると混乱することが多い		
		ト: 日課が変更されると混乱することが多い		
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない		
	物の一部に対する強い興味	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある		
		ネ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない	✓	
ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある				
感覚	感覚が敏感または鈍感	ノ: 目を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある	✓	常に目をふさいでいる キラキラする刺激が好き（基本情報より） 水道の水を長時間触っている
		ハ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある	✓	
		ヒ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある	✓	
		フ: 著しい偏食、刺激の強い味を好む、同じものばかり食べる、など行動がある		
		ヘ: 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
		ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある		

行動チェックシートの追加

記入例

行動チェックシート

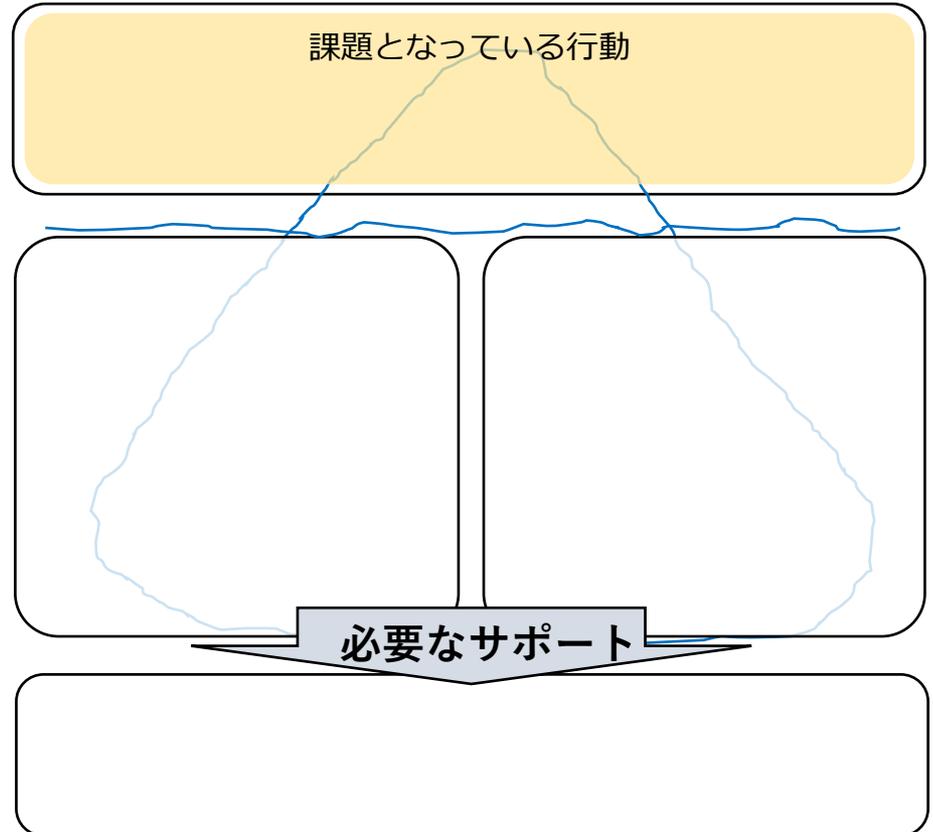
		例	✓	本人の具体的な行動
コミュニケーション	理解が難しい	キ: 言葉で指示をしても行動できない	✓	支援者が「作業をしましょう」と言っても座っている
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする	✓	支援者が「作業をしましょう」と言うと水遊びに行く
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す (エコリア)	✓	「作業をしましょう」と言われて「作業」と繰り返す
	発信が難しい	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす	✓	「お出かけ」と言って立ちあがる、歩きだす 支援者から止められて作業中に自傷をする
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない	✓	「お出かけ」という言葉だけで自分の気持ちを伝えようとしている
	やり取りが難しい	ス: やり取りがかみ合わない		
		セ: やり取りが続かない		
		ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある		

「行動チェックシート」の中から課題となっている行動を確認します

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない		
		イ: 人との関わりが一方的であることが多い		
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する		
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない		
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない		
コミュニケーション	理解が難しい	カ: 言葉で指示しても行動できない		
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする		
	発信が難しい	ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す (エコーリア)		
		コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを見わす		
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
	やり取りが難しい	シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない		
		ス: やり取りがかみ合わない		
想像力	自分で予定を立てることが難しい	セ: やり取りが続かない		
		ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある		
		タ: やることがないときにウロウロしている、じっとしている		
	変化への対応が難しい	チ: 自分から動くことができない		
		ツ: 予定の変更に混乱することが多い		
		テ: 自分のルールを変えると混乱することが多い		
		ト: 日課が変更されると混乱することが多い		
物の一部に対する強い興味	ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない			
	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある			
	ネ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない			
	ノ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある			
感覚	感覚が敏感または鈍感	ハ: 目を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある		
		ヒ: 仮しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある		
		ヘ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある		
		ホ: 美味しい痛食、刺激の強い味を好む、同じものばかり食べる、など行動がある		
		ヘ: 特定の臭いを嫌がったり、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
		ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある		

冰山モデルシート



行動チェックシート

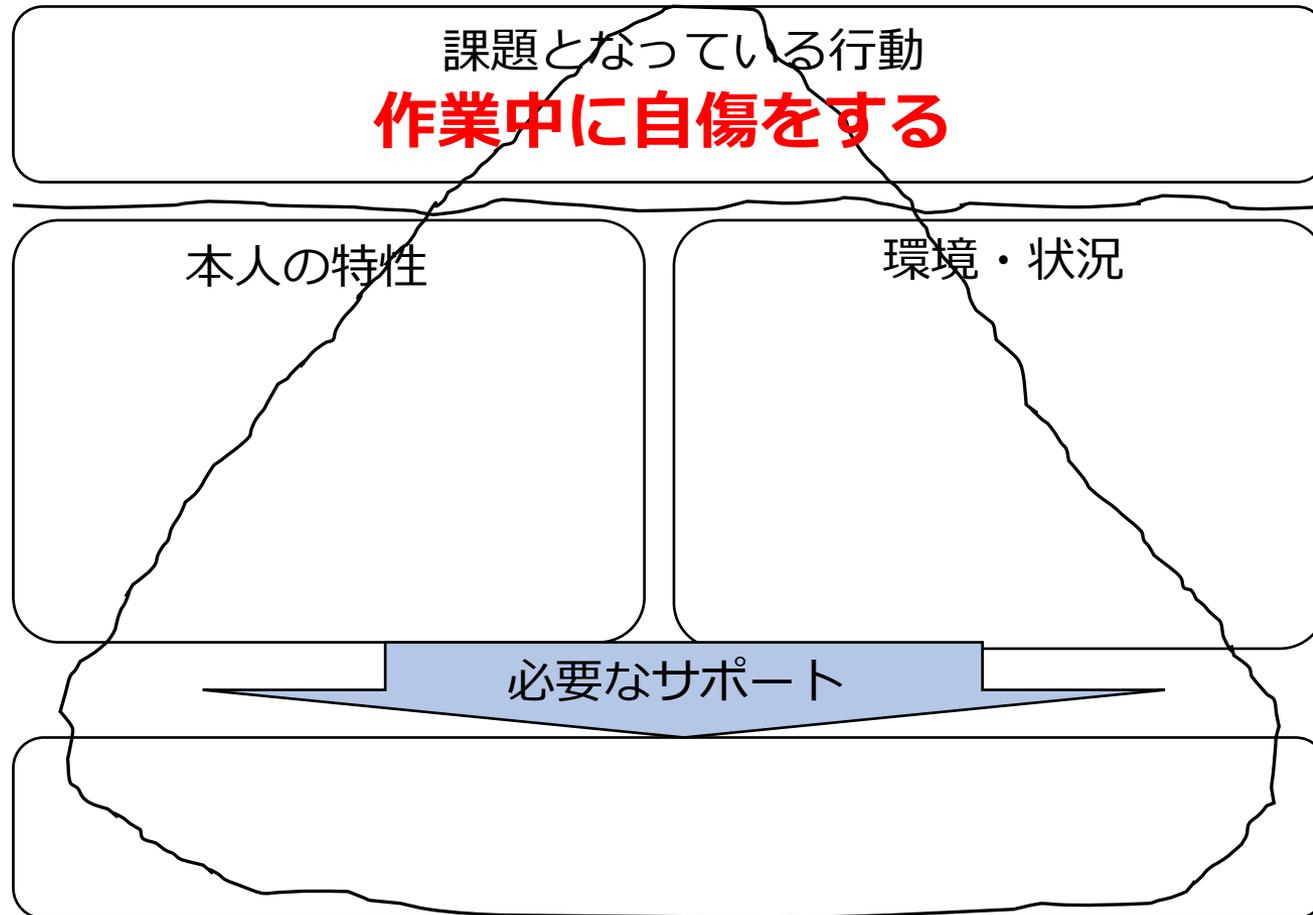
		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない	✓	支援者が話しかけても支援者の方を向かない 支援者が作業をするようにはたらかけても動かない、水遊びに行く、「お出かけ」と言って歩き出す
		イ: 人との関わりが一面的であることが多い		
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する	✓	
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない		
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない		
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する		
コミュニケーション	理解が難しい	キ: 言葉で指示をしても行動できない	✓	支援者が「作業をしましよ」と言っても座っている 支援者が「作業をしましよ」と言うと水遊びに行く 「作業をしましよ」と言われて「作業」と繰り返す 「お出かけ」と言って立ちあがる、歩きたす 支援者から止められて作業中に自傷する
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする	✓	
		ク: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコリア）	✓	
	発信が難しい	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを見わす	✓	
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない	✓	
	やり取りが難しい	ス: やり取りがかみ合わない		
		セ: やり取りが続かない		
		ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある		
	想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ: やることがないときにワロロしている、じっとしている	
チ: 自分から動くことができない			✓	
ツ: 予定の変更に混乱することが多い				
変化への対応が難しい		テ: 自分のルールを変えると混乱することが多い		
		ト: 日課が変更されると混乱することが多い		
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない		
物の一部に対する強い興味		ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある		
		ヌ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない	✓	
	ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある			
感覚	感覚が敏感または鈍感	ノ: 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある	✓	常に耳をふさいでいる キラキラした刺激が好き（基本情報より）
		ハ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある	✓	
		ヒ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある		
		フ: 著しい偏食、刺激の強い味を好む、同じものばかり食べる、など行動がある		
		ヘ: 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
		ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある		



「お出かけ」と言って立ち上がる、歩き出す、支援者から止められて
作業中に自傷をする

今回は、この行動に対応する支援手順書を作っていきます。

氷山モデルを使って田中さんの行動を整理します。



課題となっている行動

1. 自分自身の生命あるいは健康に著しい危険を与える行動
2. 周囲の人あるいは状況に著しい危険ないし混乱を与える行動
3. 自分自身の意味ある活動への参加や学習を著しく妨げる行動

以上3つの条件のうち少なくともひとつに該当する行動と言われる。

参考文献『発達障害児の問題行動その理解と対応マニュアル』志賀利一

1. 自分自身の生命あるいは健康に著しい危険を与える行動
→自傷で田中さんがケガをするかもしれない
2. 周囲の人あるいは状況に著しい危険ないし混乱を与える行動
→大声を聞いた他の利用者が恐怖を感じるかもしれない
→支援者も恐怖を感じるかもしれない
3. 自分自身の意味ある活動への参加や学習を著しく妨げる行動
→作業ができなくなるかもしれない

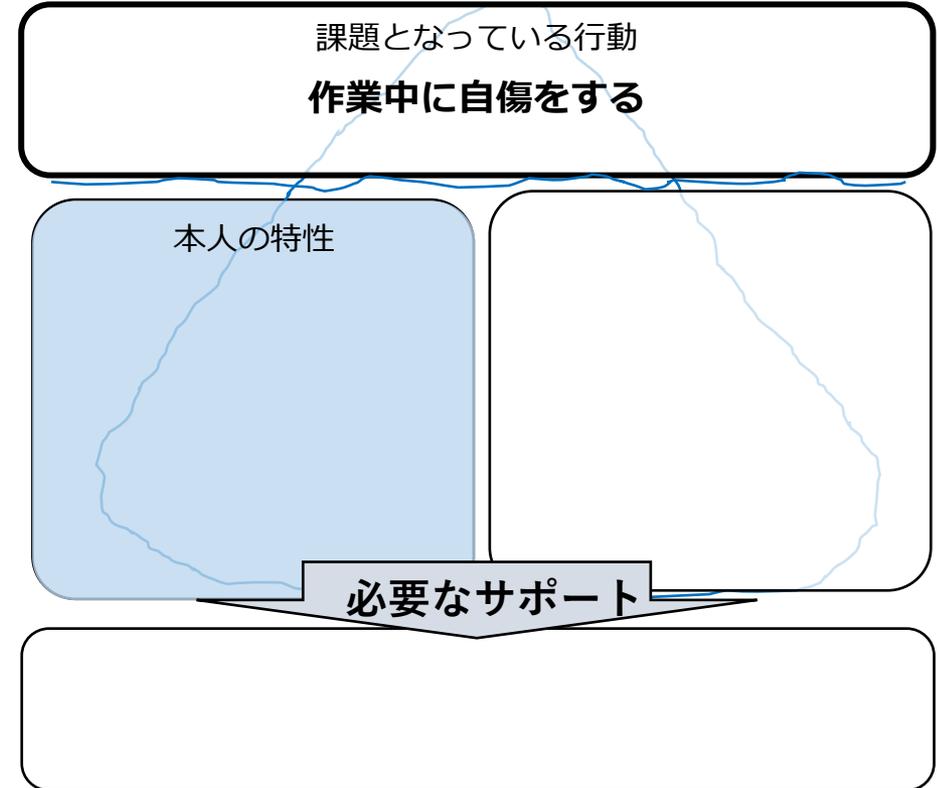
iii) 本人の特性を整理する

「特性確認シート」を使って本人の特性を整理します

特性確認シート

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 作業中に自傷する 』		
	背景となる特性	支援のアイデア
社会性	1) 相手への関心が薄い	✓
	2) 相手から期待されていることを理解するのが難しい	A)
	3) 相手が見ているものを見て相手の考えを察することが難しい	
	4) 周囲で起こっていることへの関心が薄い	B)
	5) 周囲の様子から期待されていることを理解することが難しい	C)
	6) 見えないものの理解が難しい	
コミュニケーション	7) 話し言葉の理解が難しい	D)
	8) 一度にたくさんのかんことを理解するのが難しい	
	9) 抽象的であいまいな表現の理解が難しい	E)
	10) 話し言葉で伝えることが難しい	
	11) どのようにして伝えたいか分からない	F)
	12) 誰に伝えていいか分からない	
想像力	13) 場面や状況に合わせたコミュニケーションが難しい	G)
	14) 表情や視線などの非言語コミュニケーションが難しい	
	15) やり取りの量が多しと処理が難しい	H)
	16) 段取りを適切に組み合わせることが難しい	
	17) なんとなく、だいたいなどのイメージを持ちにくい	I)
	18) 今やることを自分で判断することが難しい	
感覚	19) 先の予測をすることが難しい	J)
	20) 臨機応変に判断することが難しい	
	21) 自分のやり方から抜け出すことが難しい	K)
	22) 興味関心が狭くて強い	
	23) 細部が気になり違いに敏感	L)
	24) 少しの違いで大きな不安を感じる	
感覚	25) 聴覚の過敏や鈍麻がある	
	26) 視覚の過敏や鈍麻がある	
	27) 触覚の過敏や鈍麻がある	
	28) 嗅覚の過敏や鈍麻がある	
	29) 味覚の過敏や鈍麻がある	
	30) 前庭覚の特有の感覚がある	

冰山モデルシート



田中さんが作業中に自傷をする理由を考えます

特性確認シート

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 作業中に自傷する 』			
	背景となる特性	支援のアイデア	
社会性	人や集団との関係に難しさがある	1) 相手への関心が薄い	A) 涙み取ってもらう、察してもらうではなく、具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点) B) 誰にどう伝えたらよいかを具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点) C) 「いつ」「どこで」「何を」の情報を見てわかるように伝える(方法の視点・やりとりの視点)
		2) 相手から期待されていることを理解するのが難しい	
		3) 相手が見ているものを見て相手の考えを察することが難しい	
	状況の理解が難しい	4) 周囲で起こっていることへの関心が薄い	
		5) 周囲の様子から期待されていることを理解することが難しい	
		6) 見えないものの理解が難しい	
コミュニケーション	理解が難しい	7) 話し言葉の理解が難しい	D) 本人が理解できる見える情報(文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など)で伝える(やりとりの視点・見え方の視点) E) 本人が発信しやすいツールを(文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など)提供する(やりとりの視点・見え方の視点) F) 視覚的なツールでやり取りができるようにする(やりとりの視点・見え方の視点)
		8) 一度にたくさんのかことを理解するのが難しい	
		9) 抽象的であいまいな表現の理解が難しい	
	発信が難しい	10) 話し言葉で伝えることが難しい	
		11) どのようにして伝えたいか分からない	
		12) 誰に伝えていいか分からない	
	やり取りが難しい	13) 場面や状況に合わせたコミュニケーションが難しい	
		14) 表情や視線などの非言語コミュニケーションが難しい	
		15) やり取りの量が多いと処理が難しい	
想像力	自分で予定を立てることが難しい	16) 段取りを適切に組むことが難しい	G) 本人に分かりやすく予定や変更を伝える(時間の視点) H) 始まりや終わりを分かりやすいようにする(時間の視点・場所の視点) I) 活動に意味や目的を持つことができる工夫をする(方法の視点) J) 最初から正しい方法で行うことができるようにする(方法の視点)
		17) なんとなく、だいたいなどのイメージを持ちにくい	
		18) 今やることを自分で判断することが難しい	
	変化への対応が難しい	19) 先の予測をすることが難しい	
		20) 臨機応変に判断することが難しい	
		21) 自分のやり方から抜け出すことが難しい	
	物の一部に対する強い興味	22) 興味関心が狭くて強い	
		23) 細部が気になり違いに敏感	
24) 少しの違いで大きな不安を感じる			
感覚	感覚が敏感または鈍感	25) 聴覚の過敏や鈍麻がある	K) 苦手な刺激を少なくするための配慮をする(場所の視点) L) 好きな刺激、必要な刺激は保障する(場所の視点)
		26) 視覚の過敏や鈍麻がある	
		27) 触覚の過敏や鈍麻がある	
		28) 嗅覚の過敏や鈍麻がある	
		29) 味覚の過敏や鈍麻がある	
		30) 前庭覚の特有の感覚がある	

個人ワーク | 本人の特性を整理する

1. 特性確認シートで「作業中に自傷をする」
に
関係する特性をピックアップします。
2. 氷山モデルシートの本人の特性の欄に転記
します。

田中さんが作業中に自傷をする背景と考えられる特性にチェックを入れてみましょう

特性確認シート

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 作業中に自傷をする 』			
		背景となる特性	支援のアイデア
社会性	人や集団との関係に難しさがある	1) 相手への関心が薄い	A) 汲み取ってもらう、察してもらうではなく、具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点) B) 誰にどう伝えたらよいかを具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点) C) 「いつ」「どこで」「何を」の情報を見てわかるように伝える(方法の視点・やりとりの視点)
		2) 相手から期待されていることを理解するのが難しい	
		3) 相手が見ているものを見て相手の考えを察することが難しい	
	状況の理解が難しい	4) 周囲で起こっていることへの関心が薄い	
		5) 周囲の様子から期待されていることを理解することが難しい	
		6) 見えないものの理解が難しい	

<次のような仮説を立てながらチェックを入れます。>

「相手への関心が薄い」**ので**、
 「支援者の指示に注目しにくかった」**かもしれない**。

田中さんが作業中に自傷をする背景と考えられる特性にチェックを入れてみましょう

特性確認シート

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 作業中に自傷をする 』			
		背景となる特性	支援のアイデア
コミュニケーション	理解が難しい	7) 話し言葉の理解が難しい	D) 本人が理解できる見える情報（文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など）で伝える（やりとりの視点・見え方の視点）
		8) 一度にたくさんのかことを理解するのが難しい	
		9) 抽象的であいまいな表現の理解が難しい	
	発信が難しい	10) 話し言葉で伝えることが難しい	E) 本人が発信しやすいツールを（文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など）提供する（やりとりの視点・見え方の視点）
		11) どのようにして伝えたらいいかわからない	
		12) 誰に伝えていいかわからない	
	やり取りが難しい	13) 場面や状況に合わせたコミュニケーションが難しい	F) 視覚的なツールでやり取りができるようにする（やりとりの視点・見え方の視点）
		14) 表情や視線などの非言語コミュニケーションが難しい	
		15) やり取りの量が多いと処理が難しい	

田中さんが作業中に自傷をする背景と考えられる特性にチェックを入れてみましょう

特性確認シート

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 作業中に自傷をする 』			
		背景となる特性	支援のアイデア
想像力	自分で予定を立てることが難しい	16) 段取りを適切に組むことが難しい	G) 本人に分かりやすく予定や変更を伝える (時間の視点)
		17) なんとなく、だいたいなどのイメージを持ちにくい	
		18) 今やることを自分で判断することが難しい	
	変化への対応が難しい	19) 先の予測をすることが難しい	H) 始まりや終わりを分かりやすいようにする (時間の視点・場所の視点)
		20) 臨機応変に判断することが難しい	
		21) 自分のやり方から抜け出すことが難しい	
	物の一部に対する強い興味	22) 興味関心が狭くて強い	I) 活動に意味や目的を持つことができる工夫をする (方法の視点)
		23) 細部が気になり違いに敏感	
		24) 少しの違いで大きな不安を感じる	

田中さんが作業中に自傷をする背景と考えられる特性にチェックを入れてみましょう

特性確認シート

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 作業中に自傷をする 』			
		背景となる特性	支援のアイデア
感 覚	感覚が敏感または鈍感	25) 聴覚の過敏や鈍麻がある	K) 苦手な刺激を少なくするための配慮をする (場所の視点)
		26) 視覚の過敏や鈍麻がある	
		27) 触覚の過敏や鈍麻がある	L) 好きな刺激、必要な刺激は保障する (場所の視点)
		28) 嗅覚の過敏や鈍麻がある	
		29) 味覚の過敏や鈍麻がある	
		30) 前庭覚の特有の感覚がある	

グループワーク | 本人の特性を整理する

1. 司会・記録・発表を決めます
2. 「作業中に自傷をする」に関係する特性を
グループで共有します

※「冰山モデルシート(グループ用)」に記入

記入例

特性確認シート

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 作業中に自傷をする 』			
		背景となる特性	支援のアイデア
社会性	人や集団との関係に難しさがある	1) 相手への関心が薄い	✓
		2) 相手から期待されていることを理解するのが難しい	✓
		3) 相手が見ているものを見て相手の考えを察することが難しい	
	状況の理解が難しい	4) 周囲で起こっていることへの関心が薄い	
		5) 周囲の様子から期待されていることを理解することが難しい	
		6) 見えないものの理解が難しい	✓
		汲み取ってもらう、察してもらうではなく、 A) 具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点) B) 誰にどう伝えたらよいかを具体的に伝える (見え方の視点・やりとりの視点) 「いつ」「どこで」「何を」の情報を見てわかる C) ように伝える (方法の視点・やりとりの視点)	

記入例

特性確認シート

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 作業中に自傷をする 』

		背景となる特性		支援のアイデア
コミュニケーション	理解が難しい	7) 話し言葉の理解が難しい	✓	D) 本人が理解できる見える情報（文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など）で伝える（やりとりの視点・見え方の視点）
		8) 一度にたくさんのことを理解するのが難しい		
		9) 抽象的であいまいな表現の理解が難しい		
	発信が難しい	10) 話し言葉で伝えることが難しい		E) 本人が発信しやすいツールを（文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など）提供する（やりとりの視点・見え方の視点）
		11) どのようにして伝えたらいいかわからない	✓	
		12) 誰に伝えていいかわからない		
	やり取りが難しい	13) 場面や状況に合わせたコミュニケーションが難しい		F) 視覚的なツールでやり取りができるようにする（やりとりの視点・見え方の視点）
		14) 表情や視線などの非言語コミュニケーションが難しい		
		15) やり取りの量が多いと処理が難しい		

記入例

特性確認シート

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 作業中に自傷をする 』

		背景となる特性		支援のアイデア
想像力	自分で予定を立てることが難しい	16) 段取りを適切に組むことが難しい	✓	G) 本人に分かりやすく予定や変更を伝える (時間の視点)
		17) なんとなく、だいたいなどのイメージを持ちにくい		
		18) 今やることを自分で判断することが難しい	✓	
	変化への対応が難しい	19) 先の予測をすることが難しい		H) 始まりや終わりを分かりやすいようにする (時間の視点・場所の視点)
		20) 臨機応変に判断することが難しい		
		21) 自分のやり方から抜け出すことが難しい		
	物の一部に対する強い興味	22) 興味関心が狭くて強い	✓	I) 活動に意味や目的を持つことができる工夫をする (方法の視点)
		23) 細部が気になり違いに敏感		
		24) 少しの違いで大きな不安を感じる		

記入例

特性確認シート

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 作業中に自傷をする 』

		背景となる特性		支援のアイデア
感覚	感覚が敏感または鈍感	25) 聴覚の過敏や鈍麻がある	✓	K) 苦手な刺激を少なくするための配慮をする (場所の視点)
		26) 視覚の過敏や鈍麻がある		
		27) 触覚の過敏や鈍麻がある		L) 好きな刺激、必要な刺激は保障する (場所の視点)
		28) 嗅覚の過敏や鈍麻がある		
		29) 味覚の過敏や鈍麻がある		
		30) 前庭覚の特有の感覚がある		

「特性を把握する」という視点

- 個別の「障害特性」に対して周囲の「環境要因」がミスマッチな場合に、その環境に対しての不適応行動が生じることがあります
- 本人は困らせている人ではなく、困っている人という視点が重要です
- 個別の困り感に対する合理的配慮が支援の基本となります
- その場合の合理的配慮は、特性に基づいた支援のアイデアを活用することがスタンダードとなっています

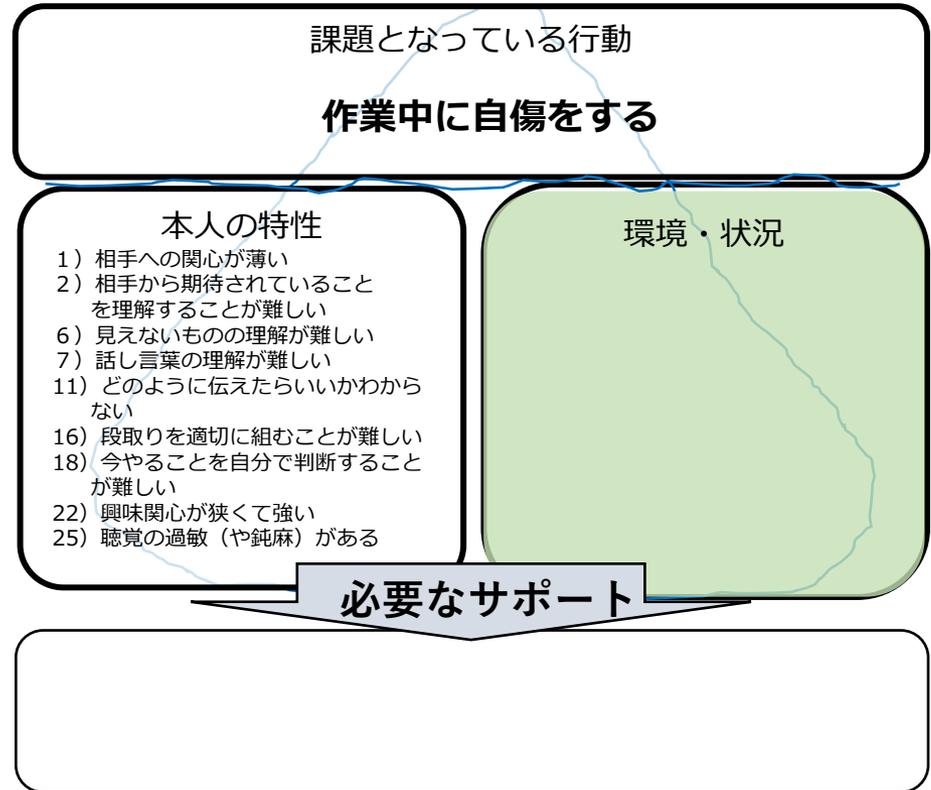
iv) 行動が現れている環境
や状況を整理する

「環境確認シート」を使って行動が現れている環境や状況を整理します

環境確認シート

項目	環境確認の視点	具体的な環境
人	指示は何で出していますか（ことば・指差し・実物・紙に書いて等） 指示の量は適切ですか 指示のタイミングは適切ですか 支援をするときの立ち位置は適切ですか その他	
物	見ると勘違いするような物がありますか 見ると気になるような物が見えていますか 物の量で気づいたことはありますか その他	
場所	何をすべき場所なのか見ればわかるようになっていますか 同じ場所で複数の目的の活動をしていますか 整理整頓はできていますか 気が散りやすい環境になっていませんか その他	
状況	本人の体調はいつもと比べてどうですか その活動の前に気になるできごとはありませんでしたか その活動の内容に本人の苦手な動作や感触などが含まれていませんか その活動の目的（どうするか、どうなったら終わるのかなど）は理解できていますか	
音	その場所にはどんな音がしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
気温	その場所の気温は何度くらいでしたか（あるいは暑かった・寒かった等） その気温は本人にとって快適なものです	
湿度	その場所の湿度は何%くらいでしたか（あるいは蒸していた・乾燥していた等） その湿度は本人にとって快適なものです	
臭い	その場所にはどんな臭いがしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
その他	その他本人が不安定になる要因になるかもしれないもの	

氷山モデルシート



次のような項目を確認しながら、田中さんの行動に関わりがありそうな具体的な環境を記入します

環境確認シート

項目	環境確認の視点	具体的な環境
人	指示は何で出していますか（ことば・指さし・実物・紙に書いて等） 指示の量は適切ですか 指示のタイミングは適切ですか 支援をするときの立ち位置は適切ですか その他	
物	見ると勘違いするような物がありますか 見ると気になるような物が見えていますか 物の量で気づいたことはありますか その他	
場所	何をすべき場所なのか見ればわかるようになっていますか 同じ場所で複数の目的の活動をしていますか 整理整頓はできていますか 気が散りやすい環境になっていませんか その他	
状況	本人の体調はいつもと比べてどうですか その活動の前に気になるできごとはありませんでしたか その活動の内容に本人の苦手な動作や感触などが含まれていませんか その活動の目的（どうするのか、どうなったら終わるのかなど）は理解できていますか その他	

次のような項目を確認しながら、田中さんの行動に関わりがありそうな具体的な環境を記入します

環境確認シート

項目	環境確認の視点	具体的な環境
音	その場所にはどんな音がしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
気温	その場所の気温は何度くらいでしたか（あるいは暑かった・寒かった等） その気温は本人にとって快適なものですか	
湿度	その場所の湿度は何%くらいでしたか（あるいは蒸していた・乾燥していた等） その湿度は本人にとって快適なものですか	
臭い	その場所にはどんな臭いがしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
その他	その他本人が不安定になる要因になるかもしれないもの	

個人ワーク | 環境や状況を整理する

1. 環境確認シートで「作業中に自傷をする」
ときの環境や状況を書き出します。
2. 冰山モデルシート of 環境・状況の欄に転記
します。

グループワーク | 環境や状況を整理する

1. 「作業中に自傷をする」ときの環境や状況をグループで共有します

※冰山モデルシート（グループ用）に記入

記入例

環境確認シート

項目	環境確認の視点	具体的な環境
人	指示は何で出していますか（ことば・指さし・実物・紙に書いて等） 指示の量は適切ですか 指示のタイミングは適切ですか 支援をするときの立ち位置は適切ですか その他	支援者は言葉で指示を出している
物	見ると勘違いするような物がありますか 見ると気になるような物が見えていますか 物の量で気づいたことはありますか その他	作業の道具が準備されていない
場所	何をすべき場所なのか見ればわかるようになっていますか 同じ場所で複数の目的の活動をしていますか 整理整頓はできていますか 気が散りやすい環境になっていませんか その他	近くに水遊びができる場所がある
状況	本人の体調はいつもと比べてどうですか その活動の前に気になるできごとはありませんでしたか その活動の内容に本人の苦手な動作や感触などが含まれていませんか その活動の目的（どうするのか、どうなったら終わるのかなど）は理解できていますか その他	今何をしたらいいかはっきりわかりにくい いつお出かけに行くのかわかりにくい

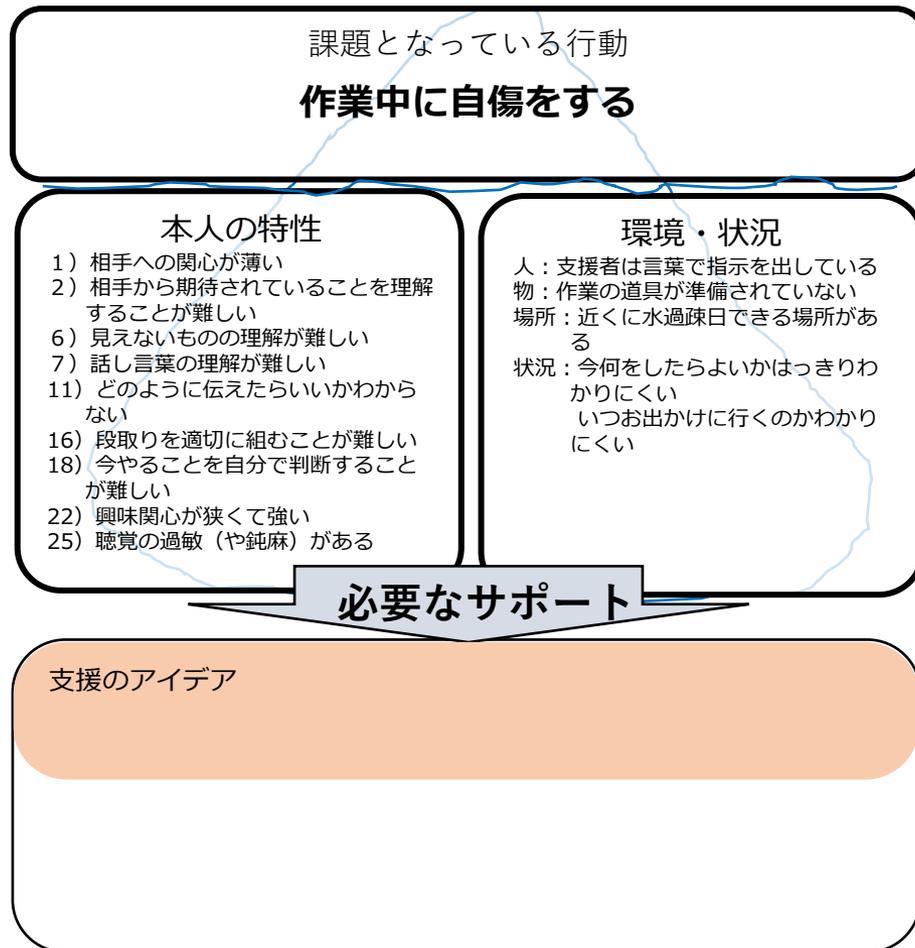
V) 必要なサポートを整理する

必要なサポートを「特性確認シート」の「支援のアイデア」を使って整理します

特性確認シート

課題となっている行動（本人が困っている行動）『作業中に自傷をする』		
	背景となる特性	支援のアイデア
社会性	1) 相手への関心が薄い	A) 汲み取ってもらう、察してもらうではなく、具体的に伝える(見え方の視点・やりどりの視点) B) 誰にどう伝えたらよいかを具体的に伝える(見え方の視点・やりどりの視点) C) 「いつ」「どこで」「何を」の情報を見てわかるように伝える(方法の視点・やりどりの視点)
	2) 相手から期待されていることを理解するのが難しい	
	3) 相手が見ているものを見て相手の考えを察することが難しい	
	4) 周囲で起こっていることへの関心が薄い	
	5) 周囲の様子から期待されていることを理解することが難しい	
	6) 見えないものの理解が難しい	
コミュニケーション	7) 話し言葉の理解が難しい	D) 本人が理解できる見える情報(文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など)で伝える(やりどりの視点・見え方の視点) E) 本人が発信しやすいツール(文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など)を提供する(やりどりの視点・見え方の視点) F) 視覚的なツールでやり取りができるようにする(やりどりの視点・見え方の視点)
	8) 一度にたくさんのことを理解するのが難しい	
	9) 抽象的であまいな表現の理解が難しい	
	10) 話し言葉で伝えることが難しい	
	11) どのようにして伝えたいかわからない	
	12) 誰に伝えていいかわからない	
想像力	13) 場面や状況に合わせたコミュニケーションが難しい	G) 本人に分かりやすく予定や変更を伝える(時間の視点) H) 始まりや終わりを分かりやすいようにする(時間の視点・場所の視点) I) 活動に興味や目的を持つことができる工夫をする(方法の視点) J) 最初から正しい方法で行うことができるようにする(方法の視点)
	14) 表情や視線などの非言語コミュニケーションが難しい	
	15) やり取りの量が多いと処理が難しい	
	16) 段取りを適切に組むことが難しい	
	17) なんとなく、たいたいなどのイメージを持ちにくい	
感覚	18) 今やることを自分で判断することが難しい	K) 苦手な刺激を少なくするための配慮をする(場所の視点) L) 好きな刺激、必要な刺激は保障する(場所の視点)
	19) 先の予測をすることが難しい	
	20) 臨機応変に判断することが難しい	
	21) 自分のやり方から抜け出すことが難しい	
	22) 興味関心が狭くて強い	
感覚が敏感または鈍感	23) 細部が気になり遠くに敏感	
	24) 少しの違いで大きな不安を感じる	
	25) 聴覚の過敏や鈍麻がある	
	26) 視覚の過敏や鈍麻がある	
	27) 触覚の過敏や鈍麻がある	
	28) 嗅覚の過敏や鈍麻がある	
	29) 味覚の過敏や鈍麻がある	
	30) 前庭覚の特有の感覚がある	

氷山モデルシート



田中さんの行動の背景となる特性に対応した支援のアイデアをピックアップします。

特性確認シート

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 作業中に自傷をする 』			
		背景となる特性	支援のアイデア
社会性	人や集団との関係に難しさがある	1) 相手への関心が薄い	A) 汲み取ってもらい、察してもらうではなく、具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点) B) 誰にどう伝えたらよいかを具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点) C) 「いつ」「どこで」「何を」の情報を見てわかるように伝える(方法の視点・やりとりの視点) D) 本人が理解できる見える情報(文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など)で伝える(やりとりの視点・見え方の視点) E) 本人が発信しやすいツールを(文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など)提供する(やりとりの視点・見え方の視点) F) 視覚的なツールでやり取りができるようにする(やりとりの視点・見え方の視点)
		2) 相手から期待されていることを理解するのが難しい	
		3) 相手が見ているものを見て相手の考えを察することが難しい	
	状況の理解が難しい	4) 周囲で起こっていることへの関心が薄い	
		5) 周囲の様子から期待されていることを理解することが難しい	
		6) 見えないものの理解が難しい	
コミュニケーション	理解が難しい	7) 話し言葉の理解が難しい	
		8) 一度にたくさんのかことを理解するのが難しい	
		9) 抽象的であいまいな表現の理解が難しい	
	発信が難しい	10) 話し言葉で伝えることが難しい	
		11) どのようにして伝えたらいいかわからない	
		12) 誰に伝えていいかわからない	
やり取りが難しい	13) 場面や状況に合わせたコミュニケーションが難しい		
	14) 表情や視線などの非言語コミュニケーションが難しい		
	15) やり取りの量が多いと処理が難しい		
想像力	自分で予定を立てることが難しい	16) 段取りを適切に組むことが難しい	G) 本人に分かりやすく予定や変更を伝える(時間の視点) H) 始まりや終わりを分かりやすいようにする(時間の視点・場所の視点) I) 活動に意味や目的を持つことができる工夫をする(方法の視点) J) 最初から正しい方法で行うことができるようにする(方法の視点)
		17) なんとなく、だいたいなどのイメージを持ちにくい	
		18) 今やることを自分で判断することが難しい	
	変化への対応が難しい	19) 先の予測をすることが難しい	
		20) 臨機応変に判断することが難しい	
		21) 自分のやり方から抜け出すことが難しい	
	物の一部に対する強い興味	22) 興味関心が狭くて強い	
		23) 細部が気になり違いに敏感	
24) 少しの違いで大きな不安を感じる			
感覚	感覚が敏感または鈍感	25) 聴覚の過敏や鈍麻がある	K) 苦手な刺激を少なくするための配慮をする(場所の視点) L) 好きな刺激、必要な刺激は保障する(場所の視点)
		26) 視覚の過敏や鈍麻がある	
		27) 触覚の過敏や鈍麻がある	
		28) 嗅覚の過敏や鈍麻がある	
		29) 味覚の過敏や鈍麻がある	
		30) 前庭覚の特有の感覚がある	

個人ワーク | 支援のアイデアを整理する

1. 特性確認シートで「作業中に自傷をする」背景となる特性に対応する支援のアイデアをピックアップします。
2. 冰山モデルシートの支援のアイデアの欄に転記します。

グループワーク | 支援のアイデアを整理する

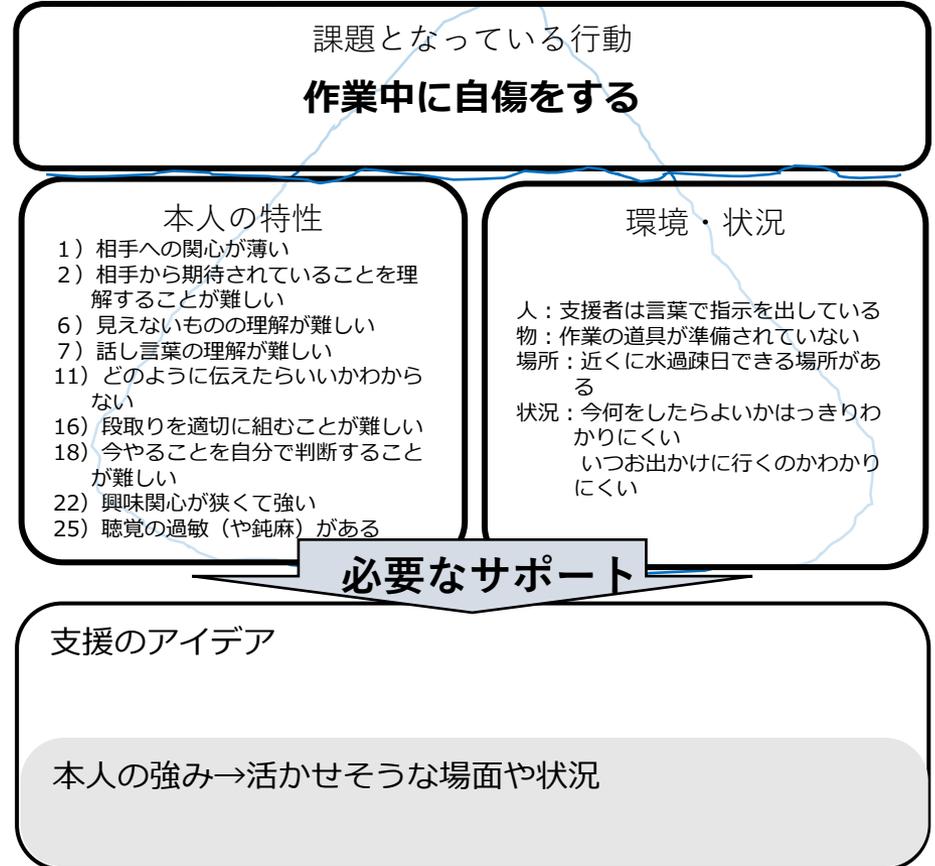
1. 「作業中に自傷をする」に関係する特性に対応する支援のアイデアをグループで共有します
※氷山モデルシート（グループ用）に記入

さらに「強み（ストレングス）確認シート」 を使って具体化します

強み（ストレングス）確認シート

本人の強み（ストレングス）	活かせそうな場面や状況
<p>わかること・できること</p> <p>例) なくなったら終わり、ペットボトルのふたを開ける ハサミを使うのが上手 など</p>	
<p>好きなこと（遊び方、過ごし方、キャラクターなど） やりたがること</p> <p>例) ハンモックで揺れる ○○のキャラクター ヒックリはまる 色を合わせる</p>	
<p>得意なこと（これには助けられているなど） 見方を変えれば得意かもしれないこと</p> <p>例) 目的がわかれば待つことができる 変更は苦手だがいつもと同じことはできる</p>	
<p>その他</p>	

冰山モデルシート



「強み」(ストレングス)とは

支援をするときに活かせそうな、本人の能力や環境

※ストレングスモデル

その人が元来持っている強さに注目し、それを引き出して活用していこうとする考え方

障害特性も「リフレーミング」により強みになる場合もある。

(参考) リフレーミング

ある枠組み（フレーム）で捉えられている物事を、枠組みをはずして違う枠組みで見ること

今までの考えとは「解釈を変える・視点を変える」

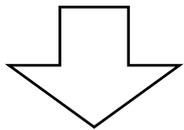
「違った角度からアプローチする」ことにより、誰もが潜在的に持っている能力を使って、意図的に自分や相手の生き方を健全なものにし、ポジティブなものにしていく。

リフレーミングの例

「水をどのくらい飲めましたか？」

【ポジティブ】

半分も飲めている

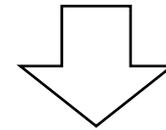


「あと少しで飲み終わりますね。」
「頑張ってますね。」



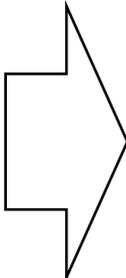
【ネガティブ】

半分しか飲めていない



「全然飲めていない
ですね。」
「早く飲んでください
いよ。」

リフレーミングの例

- 動作が遅い
 - 大雑把
 - 頑固、融通がきかない
 - 気が散りやすい
 - 自己中心的
 - 心配性
 - 自分勝手
 - 作業が雑
 - 集団で行動できない
 - 飽きっぽい
 - しつこい
 - 人に流されやすい
- 
- 一つ一つ丁寧にできる
 - 小さいことが気にならない
 - 強い意志を持っている
 - 好奇心旺盛
 - 自分のことを大切にできる
 - 先のことを予測できる
 - 主体的に行動できる
 - 大まかなことはできる
 - 1人で行動できる
 - 気持ちの切り替えが早い
 - ねばり強い
 - 状況把握ができています

リフレーミングの考え方の大切さ

リフレーミングは、問題、課題への対応方法を考えるときに用いることが多い。

問題・課題解決において

- ① 「できない理由」ではなく「どうやったらできるか」を考えるようになる
- ② その人自身を変えようとするのではなく、環境、支援方法を変えるようになる
- ③ ピンチをチャンスに変える思考習慣が身につく

活かせそうな強み（ストレングス）を書き出します（活かせそうな場面や状況も考えます）

強み（ストレングス）確認シート

本人の強み（ストレングス）	活かせそうな場面や状況
わかること・できること 例) なくなったら終わり、ペットボトルのふたを開ける ハサミを使うのが上手 など	
好きなこと（遊び方、過ごし方、キャラクターなど） やりたがること 例) ハンモックで揺れる ○○のキャラクター ビックリはまる 色を合わせる	
得意なこと（これには助けられているなど）見方を変えれば得意かもしれないこと 例) 目的がわかれば待つことができる 変更は苦手だがいつもと同じことはできる	
その他	

個人ワーク | 強み（ストレングス）を整理する

1. 活かせそうな強み（ストレングス）シートで、活かせそうな強み（ストレングス）を書き出します（活かせそうな場面や状況も考えます）。
2. 氷山モデルシートの活かせそうな強みの欄に転記します。

グループワーク | 強み（ストレングス）を整理する

1. 活かせそうな本人の強み（ストレングス）をグループで共有します

※氷山モデルシート（グループ用）に記入

記入の仕方

強み（ストレングス） →活かせそうな場面

発 表

1. 記入した氷山モデルの内容を発表します

記入例

課題となっている行動

作業中に自傷をする

(本人の特性)

- 1) 相手への関心が薄い
- 2) 相手から期待される行動を理解することが難しい
- 6) 見えないものの理解が難しい
- 7) 話し言葉の理解が難しい
- 11) どのようにして伝えたらいいかわからない
- 16) 段取りを適切に組むことが難しい
- 18) 今やることを自分で判断することが難しい
- 22) 興味関心が狭くて強い
- 25) 聴覚の過敏（鈍麻）がある

(環境・状況)

人：支援者は言葉で指示を出している
物：作業の道具が準備されていない
場所：近くに水遊びができる場所がある
状況：今何をしたらいいかわかりにくい
状況：いつお出かけに行くのかわかりにくい

必要なサポート

(支援のアイデア)

- C) 「いつ」「どこで」「何を」の情報を見てわかるように伝える
- D) 本人が理解できる見える情報（文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など）で伝える
- G) 本人に分かりやすく予定や変更を伝える

(本人の強み→活かせるような場面や状況)

- ・作業の机に座ることができる → ・やることを分かりやすくすれば座って作業ができないか
- ・同じマークを見ると重ねることができる → ・活動を伝えるときにマークを活用できないか
- ・キラキラするものが好き → ・好きな活動を楽しみに他の活動に取り組むことができないか

まとめの講義

1. 強度行動障害が現れている方への支援は、アセスメントに基づいた本人の障害特性を理解して、根拠のある支援を組み立てることが基本です。
2. アセスメントは、本人の障害特性だけではなく、環境や状況も含めて行うことが重要です。